

2021年2月12日

各位

会社名 株式会社メタックス
 代表者名 代表取締役社長 山崎 祐一郎
 (コード番号: 6172 東証マザーズ)
 問合せ先 管理本部長 原 大輔
 (TEL. 03-6459-4670)

2020年12月期における連結及び個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、連結・個別業績予想ともに開示しておりませんが、2020年12月期の業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、2019年12月期は決算期変更の移行期間にあたり16カ月の変則決算となります。

記

1. 2020年12月期通期連結業績と前期実績値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前期実績値 (A)	百万円 13,292	百万円 △2,990	百万円 △3,152	百万円 △3,633	百万円 △2,861	円 銭 △211.29
当期実績値 (B)	8,569	△460	△510	△162	△108	△7.93
差異額 (B-A)	△4,723	2,530	2,642	3,471	2,753	
差異率 (%)	△35.5%	—	—	—	—	

(注) 2019年12月期は決算期変更に伴う変則決算となっており、差異率は会計期間の長さの異なる実績値を基準に算出しております。

2. 2020年12月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 1,160	百万円 △168	百万円 △262	百万円 △6,118	円 銭 △451.92
当期実績値 (B)	1,176	△228	△218	943	69.55
差異額 (B-A)	16	△60	44	7,061	
差異率 (%)	1.4%	—	—	—	

3. 差異の理由

(1) 連結業績

前期は決算期の移行に伴う変則決算や、事業ポートフォリオの見直しがあったため、当期の売上高は減少いたしました。また、前期は子会社及び関連会社ののれんの減損損失2,335百万円及びその他無形資産の減損損失1,341百万円を計上したため、その反動として営業利益、税引前利

益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は増益となりました。

(2) 個別業績

前期が決算期の移行に伴う変則決算であった一方、子会社であった株式会社メタップスリンクスの吸収合併（2020年5月）の影響もあり、売上高、営業利益及び経常利益はほぼ横ばいとなりました。当期純利益は、前期に事業構造改善費用5,908百万円、また今期には子会社である株式会社メタップスペイメント株式の一部売却に伴う特別利益1,422百万円を計上したため増益となりました。

以 上